

自治体名	滑川市教育委員会 担当課：スポーツ課 電話番号：076-475-1484
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	2校	② 生徒数	820人	③ 部活動数	28部活
--------	----	-------	------	--------	------

1.2 地域における現状・課題

滑川市内2つの中学校に全28の運動部が設置されており、15部でスポーツエキスパートや部活動指導員が指導に携わっており、全国大会やブロック大会等に出場するなど成果を出してきた。一方で、年々生徒数の減少や在籍生徒の市内外のクラブチーム等への加入により、各部における部員数が減少しており、部によっては、単独で大会に出場することが難しい状況にある。また、生徒数減少に伴う教員数の削減により、顧問の配置も難しい状況になっている。

市内には総合型スポーツクラブが1つあり、幅広い年齢層を対象にした教室等を開設している。しかし、年々加入者の減少が続いており、各教室の指導者の確保についても年々難しくなっている。市内各競技団体等においては、スポーツ少年団等の既存のチームの指導のため、部活動の地域移行に伴う新たな体制づくりが難しかったり、指導者の確保が難しい状況である。

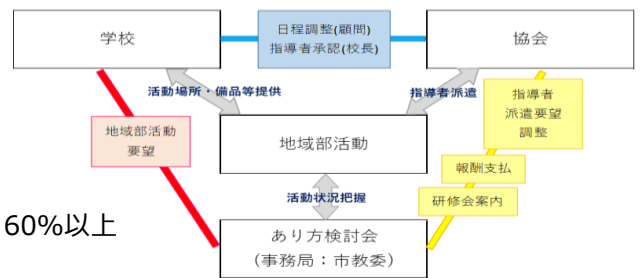
以上のこと等を踏まえ、子どもたちが自主的・自発的に継続してスポーツに親しむことができる環境・機会の確保・充実のため、地域で支え、育てる滑川市型の地域部活動のあり方を検討するとともに、教員の働き方改革を踏まえた部活動における指導負担等の軽減を図ることを目指すこととした。

1.3 実践研究における取組目標

【目標および検証方法】

- ① 地域移行に向けた地域運動部活動のあり方の検討、検証
- ② 地域移行に向けた拠点校での地域指導者による指導の実施
検証方法：生徒、保護者、指導者、担当顧問へのアンケート調査・ヒアリング調査
⇒地域部活動の満足度「良い」「やや良い」の合計が60%以上
- ③ 地域移行に向けた地域への理解促進
検証方法：生徒、保護者へのアンケート調査
⇒活動費の負担について、「負担可能」の割合が60%以上
- ④ 教員の休日の部活動指導時間の削減
検証方法：担当顧問の勤務時間調査
⇒休日の部活動指導時間0時間（中体連主催の大会を除く）

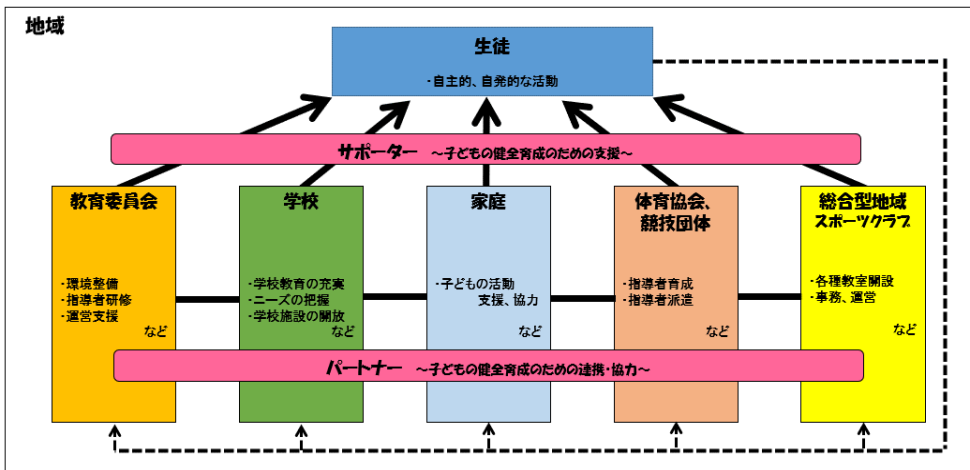
1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

○地域部活動あり方検討会

回数：年3回実施
構成員：市体育協会、市中学校長会、市中学校体育連盟、市バドミントン協会、市小中学校PTA連合会
協議内容：・グランドデザイン、指導者心得、緊急時対応マニュアルの作成
・各種アンケート調査の分析



滑川市中学校部活動指導者募集!

「自身の競技経験等をも
滑川の子どものために活かしてみませんか!」

【募集対象者】
スポーツ指導に興味のある方、子どもが大好きな方

【募集競技(守備域)】
①陸上競技 ②軟式野球 ③ソフトボール
④サッカー ⑤ソフトテニス ⑥バスケットボール
⑦バレーボール ⑧バドミントン ⑨卓球

【活動方針・内容】
市内中学校の部活動担当顧問と連携を取り、活動方針や活動内容について共通理解・協定を行いながら、子どもたちの心身の成長のために指導に当たっていただきます。

【活動時間】
週最大5日(平日4日、休日1日) 休日のみでも構いません!!
※平日2時間、休日3時間程度。日時は顧問と相談の上、決定します。

【活動場所】
市内中学校または市内体育施設

【報酬】
1,119円/月

お問い合わせは、上記QRコードからお願いします。
滑川市教育委員会スポーツ課

○地元の専門学校との連携強化

地元の専門学校の協力を得て、学生の指導希望者の募集を開始。
◀目的▶ ・地域の指導者の掘り起こし
・学生を含めた滑川市版指導者バンクの設置の土台づくり

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全2中学校のうち、1校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	1部活
③ 種目	バドミントン

《主な取組例(1)》…滑川市立滑川中学校

① 運営主体	滑川市教育委員会		
② 種目	バドミントン	④ 参加者数	48人
④ 活動日	土曜日または日曜日	⑤ 活動場所	滑川市立滑川中学校体育館
⑦ 指導者人数	6人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,119円/時間
⑨ 指導者属性	市バドミントン協会に所属の指導者6名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

3.2 参加者の声(生徒、保護者、教師、指導者等) ※詳細は別紙(アンケート調査結果)

【全体】

○今年度の地域部活動の全体的な満足度は? 生徒:82% 保護者:86% 指導者:100% 顧問 100%

【生徒 回収数:34/48名(70.8%)】

○地域部活動の良かった点は何ですか?(複数回答可)

・体力・技術が向上した:20名 ・楽しく取り組めた:18名 ・専門的な指導を受けることができた:15名

○地域部活動の改善点、不安点は何ですか?(複数回答可)

・特になし:22名 ・楽しく取り組めなかった:7名 ・練習についていけない:4名 ・成長できなかった:3名

【保護者 回収数:36/48名(75.0%)】

○地域部活動にご参加いただいた理由を教えてください。

・子どもが参加したいと言ったから:26名 ・専門的な指導が受けられるから:12名
 ・地域部活動の活動趣旨に賛同したから:10名 ・費用負担なく参加できるから:5名

○今後、地域部活動として活動するとしたらどのような不安点がありますか?

・どのような指導者が来るのか:18名 ・生徒間でトラブルが起きた時の対応:13名 ・ケガや事故の際の対応:12名
 ・費用負担がかかるのではないか:8名 ・学校、教員との接点なくなる:6名 ・活動実績が入試に反映されるのか:2名

○地域部活動への参加において、最も求めることは何ですか?

・子どもが楽しく取り組めること:72% ・子どもの競技レベルが上がること:19% ・費用等の負担が少なく済むこと:6%

○今後、継続的な地域部活動を行うために活動費を負担していただくとしたらどの程度が妥当な金額(月額)だと思いますか?

・1,000円程度:46% ・2,000円程度:26% ・3,000円程度:6% ・協力できない:8% ・その他:14%

【指導者 回収数:4/6名(66.7%)】

○現在、地域部活動の指導者として活動している理由を教えてください。

・当該種目の競技普及:3名 ・指導者としての使命、やりがい:3名 ・地域貢献の一環:3名

○指導者の報酬額はどの程度がふさわしいと考えますか。

・1,000円程度/時:25% ・1,500円程度/時:25% ・交通費程度:50%

○指導していて、どのようなことに悩んでいますか。

・競技志向生徒と楽しみ志向生徒の共存:4名 ・活動時の安全、出欠確認:3名 ・生徒のやる気不足:2名

【担当顧問 回収数:2/2名(100%)】

○今年度の地域部活動によって、負担軽減につながりましたか? ・大いに軽減された:50% ・やや軽減された:50%
 理由:土日の練習はすべて地域の方に見ていただいたので、週に2日の休みが確実に取れたから。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

【課題①:地域部活動について否定的な意見や不安点、改善点への対応(アンケート調査より)】

生徒:練習についていけない

・クラブ所属者にのみ練習試合等の情報が伝わっていた

対応①

保護者:実践から

・練習についていけないと子どもが言っていた

・欠席時等の連絡手段

対応②

今後に向けて

・どのような指導者か(50.0%)

・ケガや事故等の発生時の対応(33.3%)

・生徒間でトラブル発生時の対応(36.1%)

・費用負担が発生する(22.2%)

・学校との接点なくなる(16.7%)

・その他:練習場所への送迎

指導者:緊急時に冷静に対応できる知識・判断力等の習得

・出欠確認等のための電話連絡の大変さ、安易なアプリ活用への不安

・指導者の確保・育成(やる気のある若手⇒指導力・教育的な対応力の向上に時間が必要)

☆対応①:指導者研修会の実施・充実

☆対応②:担当顧問との連携強化、情報モラル教育・教室の実施、通信機能等の制限が可能なアプリの活用

【課題②:子どもたちの主体的な活動参加】

「地域部活動_よくない」と答えた生徒=「楽しく取り組めない」×「親に行かされた」(100%)—— 対応③

☆対応③:説明会等の実施

部活動は任意での参加であることの周知を図る

従来の部活動に対する意識からの脱却を図る(ex.部活動は入るべき。進学に優位になるはず。)

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

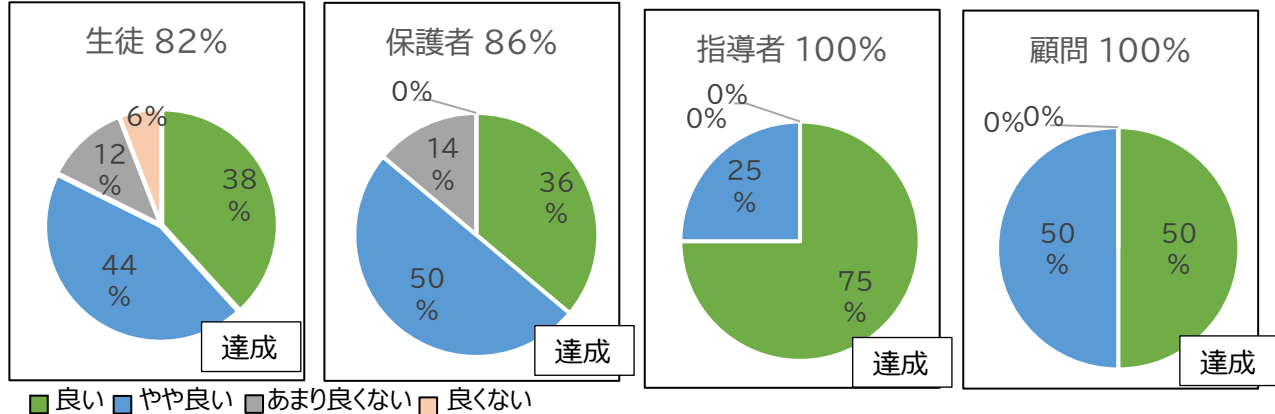
【目標達成度の検証】

「目標① 地域への部活動移行に向けた地域運動部活動のあり方の検討、検証」

「目標② 地域への部活動移行に向けた拠点校での地域指導者による指導の実施」

検証方法：生徒、保護者、指導者、担当顧問へのアンケート調査・ヒアリング調査
⇒ 地域部活動の満足度「良い」・「やや良い」の合計が60%以上

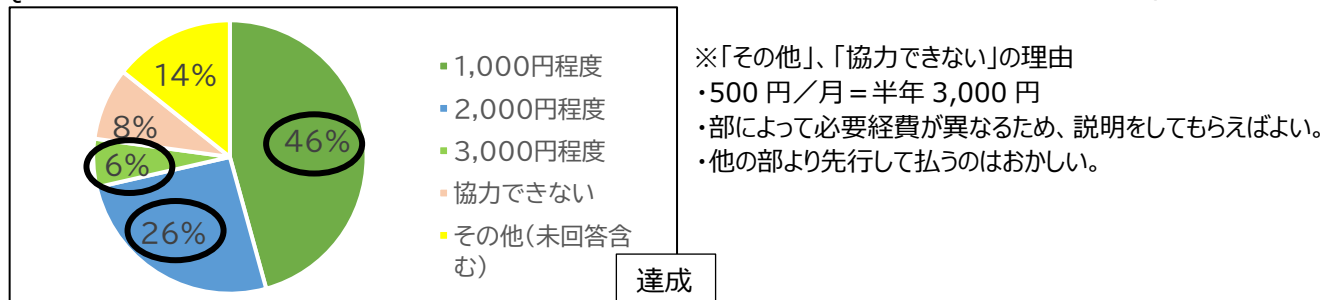
Q. 地域部活動の全体的な満足度は？



「目標③ 地域への部活動移行に向けた地域への理解促進」

検証方法：生徒、保護者へのアンケート調査 ⇒ 活動費の負担について、「負担可能」の割合が60%以上

Q. 今後、継続的な地域部活動を行うために活動費を負担していただくとしたらどの程度が妥当な金額（月額）か？



「目標④ 教員の休日の部活動指導時間の削減」

検証方法：担当顧問の勤務時間調査 ⇒ 休日の部活動指導時間0時間（中体連主催の大会を除く）

結果 4～7月：平均16.8時間/月 → 8～1月：0時間（中体連主催大会を除く）

※その他の教員：4～7月：平均23.0時間/月 → 8～1月：15.9時間

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

・定期的に協議会を開催し、先行して取り組んでいる団体の取組の成果と課題を整理したり、実情等を共有することで、市内各競技団体等の受け皿となり得る団体や学校が方向性を共有して移行を進める体制を構築する。

【受け皿団体の確保方策】

・市内競技団体を統括する市体育協会との連携強化を図り、運営団体の移行に向けた協議、検討を行う。
 ・総合型スポーツクラブに既存部活動以外のスポーツも含めたニーズに応じた多様な教室の開設に向けた協議、検討を行う。

【指導者の確保方策】

・地元の専門学校との連携を強化し、学生指導者の募集を継続し指導者の掘り起こしを行う。また、地元の企業との連携も図り、指導者の確保に努める。
 ・市独自の指導者バンクを設置し、地域内の指導者の確保状況を把握するとともに、市内各競技団体等と情報を共有して、移行後の指導体制の構築を図る。

【費用負担の軽減方策】

・部活動の移行先団体の認定制度を設け、市内中学校の部活動を対象とした市内体育・文化施設の無料での利用を継続して行えるようにする。